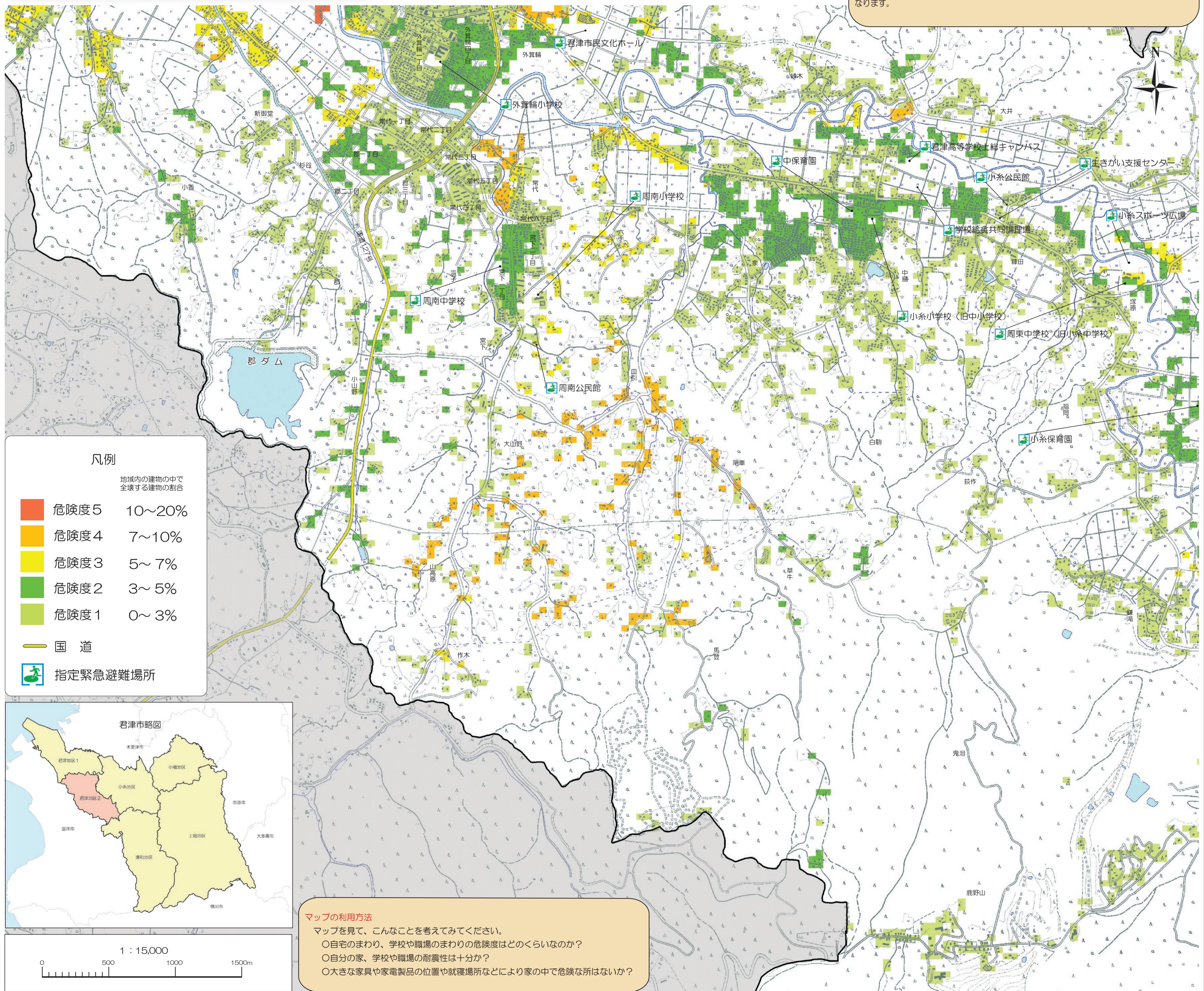


地域の危険度マップ (君津地区2)



4 建物の耐震化が重要！

- 木造住宅の耐震診断
 - 木造住宅の耐震性は、主に3つのチェックポイントがあるといわれています。
 - 新耐震設計基準（昭和56年施行）に基づき設計されているか。
 - 住宅が過去に大きな災害を経験したことがあるか。
 - 住宅の構造、形、備って大きな窓がたくさんあるなど、耐震に関する基本的な住宅の性質に問題がないか。
- 耐震性の判断には建築の専門知識が要求されます。目だった症状が無くても、耐震診断を受けることが重要です。

次のような項目に心配がある住宅は、特に要注意です。

- ドアあるいは窓を開めたとき、棒と建具との間に著しい縦長の三角形の隙間があいている。
- ドアあるいは窓の取付けが悪く、建具の開閉が変形のために思うようにいかない。
- 窓の収まりが著しく水平を欠いている。
- 建物の壁面が傾斜しているのか、肉眼でもわかる。
- 床面の傾斜が座っていて感じられる。
- シロアリの成虫（4枚羽根のついたしらし）が浴室から飛び出る。
- 屋根の棟あるいは軒先が波打っている。
- モルタル塗壁に長い斜めのひび割れが入っている。



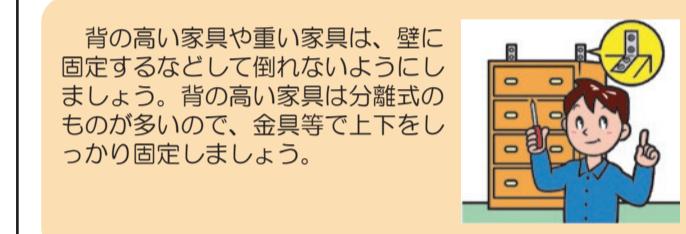
- マンションの耐震診断
- 阪神・淡路大震災では、被災したマンションの修理・建て替えを巡る住民相互の合意形成がスムーズに行えなかったために、住民同士での裁判となるケースがありました。良好な住環境を維持するためにも、早めに耐震診断・耐震改修に取り組むことが必要と考えられます。
- 住宅の耐震診断や耐震改修を行うには
- 木造住宅の耐震化の平均的な費用は約160万円（財団法人建設経済研究所推計）といわれています。実際の施工費用とは大きく異なる場合がありますので、耐震改修を行った場合には、信頼できる専門家による耐震診断と設計が必要です。



君津市では、住まいの耐震化に関する支援制度を実施し、木造住宅の耐震化を促進しています。
詳しくは木造住宅耐震担当 電話0439-56-1158

5 家具の転倒・落下防止が重要！

家具の転倒・落下防止は住宅の耐震化と同じくらい重要なことです。住宅の全壊を免れても、ガラスの飛散やタンス等の大型家具の転倒、テレビや電子レンジ等の家電製品が飛んでくるといった、日常の生活からは想像できない事態によって、思わぬケガをしたり、避難が遅れて火災に巻き込まれたりすることがあります。



食器棚は、扉が開かないよう
に金具等を取り付け、さらにガラスが割れても飛び散らないよう
にするために、飛散防止フィルムを貼りましょう。

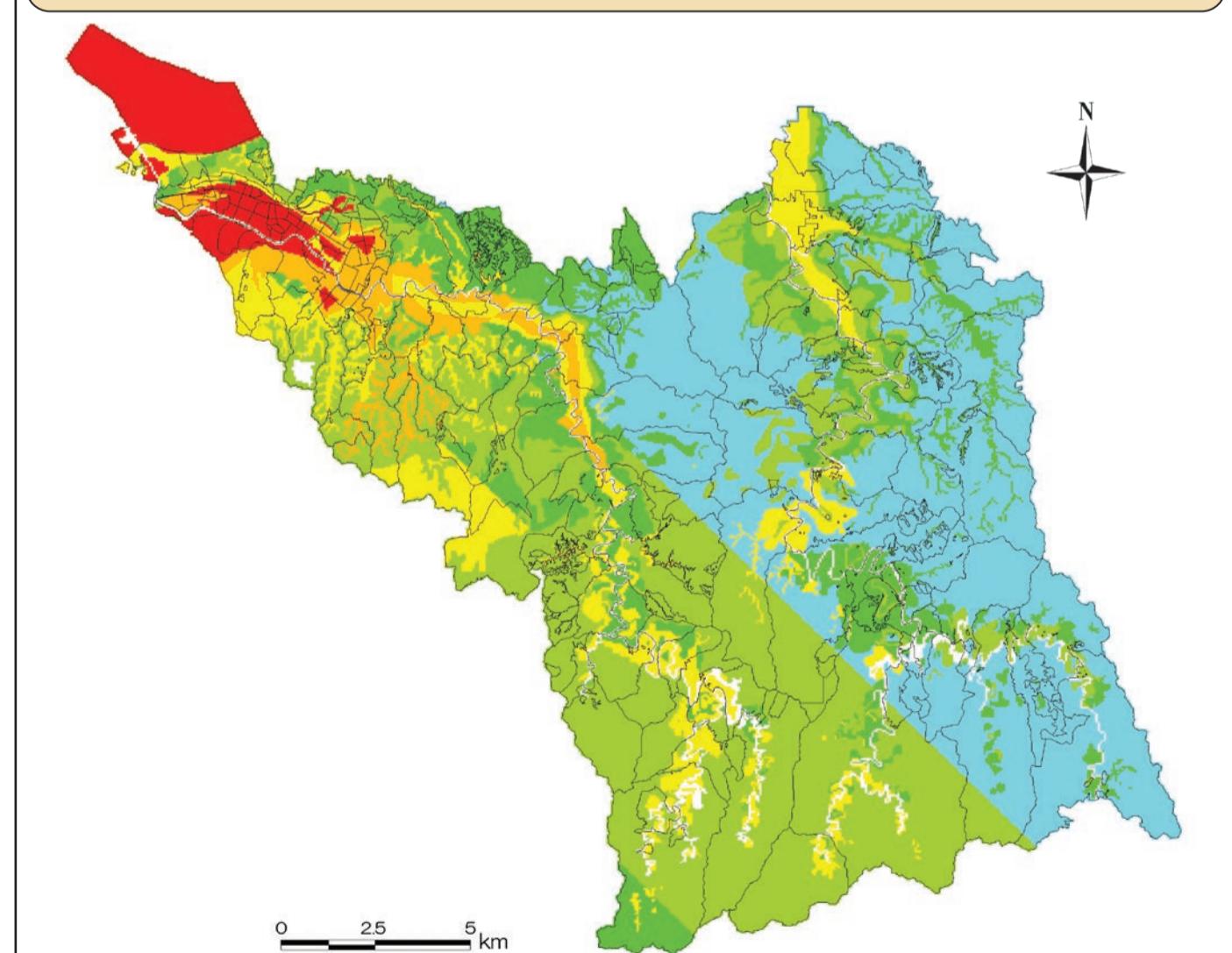


テレビやレンジ等は、搖れが強いと
飛び出す危険性があるため、バンドで
固定する等の対策をとりましょう。

<揺れやすさマップ>

揺れやすさマップとは？

揺れやすさマップとは、市域を50mメッシュに分割し、メッシュごとに地表での震度を詳細に求め、表示したものです。揺れやすさマップは、地震で予測される最大震度を示すことにしました。つまり、各メッシュで計算された2つの地震の震度の予測結果を重ね合わせて、各メッシュで大きい方の震度を表示したもののです。また、ここで表示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さであり、地震の発生の仕方によれば、揺れはこれよりも強くなったり、弱くなったりすることがあります。



震度階級	震度5強	震度6弱	震度6強	震度5弱
人間	立っていることができず、はわからない	立っていることが困難になる。	立っていることができる。	非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。
屋内	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が移動、転倒する。開けなくなっている戸がある。	固定していない重い家具の多くが落ちる。テレビが床から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。窓により戸が開かないことがある。	非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	床にある食器類、書類の多くが落ちる。テレビが床から落ちることがある。窓により戸が開かないことがある。
屋外	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強が弱い建物のほとんどの壁が倒れる。	かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強が弱い建物のほとんどの壁が倒れる。	補強されていないブロックの壁が倒れる。補強が弱い建物のほとんどの壁が倒れる。	多くの石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。

防災情報は裏面から続きます。